

1 年	特に育成したい能力や態度 (具体的な数字や言葉で記載する) 2 ～ 3 にしぼる。	授業改善の視点と具体的な方策 (具体的に達成すべき数値目標を記載する) 左側のものとリンク【対応させる】	達成率【割合】 A・・・90%以上の児童 B・・・90～80%の児童 C・・・80～70%の児童 D・・・70%以下の児童
国語	・自分の思いを自分の力で書き表す。 ・文字に親しむ機会を増やし、自分の力で読めるようにする。 ・2学期から学習する漢字を確実に定着させる。	・誰もが書けたという達成感の得られる指導を行う。書くことが難しい児童については、教師の字をなぞらせたり、真横に手本を示したりする。 ・読むことの楽しさを感じられる指導を行う。読むことが苦手な児童については、指で一文字一文字確認しながら字と音を適合させる。また、毎日の音読の宿題や週2回の朝読書、週1回の図書の時間を確保する。 ・正しい姿勢と鉛筆の持ち方を意識させ、丁寧に練習することを通して、形や筆順を確実に覚えられるようにする。	
算数	・算数の様々な概念を形成し、楽しく算数の基礎・基本を形成する。 ・足し算や引き算など、基礎的な事柄を繰り返し行い、確実な力をつける。 ・文章問題を自分で読み、解けるようにする。	・おはじきやブロックを数える、長さや傘を図るなど、多くの具体物を操作し、算数の基礎となる概念を形成する。 ・朝学習、家庭学習にプリントやスキルを使い、繰り返し学習する。徐々にブロックや指操作がなくてもできるようにする。また、デジタルドリルも活用する。 ・「文章を読み、立式し、答えを導き出す」という一連の流れを掲示し、自力解決できるようにする。立式するために必要な数字やキーワードを確認し、正しく解答できるようにする。ヒントを出せば100パーセントの回答率をめざす。	
生活	・季節の移り変わりを生かして、生活を工夫したり楽しくしたりすることができるようにする。 ・多面的な見方で、身の回りの事象について「気づく」能力。	・自然を利用したり、身近な物を使ったりして遊ぶ活動を行うことを通して、遊びや遊びに使う物を様々な考え工夫してつくり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付く。他者との関りの中で、みんなと楽しみながら遊びを創り出せるようにする。 ・活動したり考えたり表現し合ったりすることを増やし、身近な人々、社会及び自然のよさやすばらしさ、自分との関わりに気付けるようにする。	
道徳	・教材を通して考えたことや思ったことを、自分の言葉で伝えられるようにする。	・登場人物などの心情を想像する手助けとして、イラストや劇化などを取り入れる。話す機会を多く設け、友達の考えから更に自分の考えを深めていけるようにする。	